

呉趼人研究資料目録

中 島 利 郎

凡 例

- 1 本稿は、Ⅰ著訳目録、Ⅱ文献目録で構成される。
- 2 Ⅰ著訳目録 著訳類は、「小説類」「その他」および「附録」の三類に大別して、それぞれ初出年次に従い編年的に排列した。また各著訳で初出版以外に版本の知られるものは、著訳ごと初出版以下に編年的に排列した。尚、本目録は、中島編「呉趼人著作目録（初稿）」（『野草』第20号1977.8）を改削増補したものである。
- 3 各著訳の一行目は、「表題」「筆名」「所蔵（機関）」の順である。「所蔵（機関）」は中島の見た版本の所蔵のみに限って記した。二行目以下のくくは出版事項、以下は註記である。
- 4 *印を附したものは未確認である。その場合、上記「所蔵（機関）」欄に典拠となった文献類を記した。尚、以下の文献類は頭の記号で示した。
 (A)「怪現状のテキスト」；飯田吉郎『清末文学言語研究会会報1』（1962.7）
 (B)「繡像小説総目録」；樽本照雄『大阪経大論集93』（1973.5）
 (C)「晚清小説目」；阿英『晚清戯曲小説目』（1954.8 上海文芸聯合出版社）
 (D)『月月小説』；（1977.9 竜溪書舎復刻）。また「蔵」とあるのは中島所蔵である。
- 5 Ⅱ文献目録 A 記事・論稿（中国語）、B 記事・論稿・翻訳で構成される。
- 6 くくは編者が便宜的に附したものである。
- 7 尚、文学史・事典類については、あまりに繁瑣にわたるので省略した。

Ⅰ 著 訳 目 録

[小説類]

*痛史 我仏山人（拠晩清小説史）

『新小説』第1巻第8号（光緒29.8，新小説社発行）～第2巻第12号（同31，12広智書局発行）に断続的に連載。27回未完

阿英の『晚清小説史』第12章には、「痛史」は『新小説』第1巻第3期より連載されはじめた、とあるがこれは誤りである。ここでは『新民叢報』第51号などに掲載されている『新小説』の広告に拠り、上記のように第1巻第8号より連載開始と推測した。

***痛史** _____ (拋章荅深校註『痛史』前言)

〈1938年11月風雨書屋刊、残夫主編『海角遺編』収〉

章荅深校註に拠る上海文化出版社本『痛史』の「前言」にある、次の記述に従った。「本書は根拠一九三八年十一月一日出版的残夫主編的「海角遺編」「風雨書屋」的鉛印本、加以整理、原書の錯誤很多、……」

痛史 呉研人著 章荅深校註 天理大学中文研蔵

〈1956年5月上海文化出版社刊、1冊27回未完。章荅深「前言」、呉沃堯「原叙」を附す〉

呉沃堯「原叙」とは研人が『月月小説』1号誌上に『兩晋演義』を連載する際、巻頭に附した「歴史小説総序」の転載である。但し末尾の「光緒丙午八月」の6文字は削除されている。章荅深が校註本上梓にともない、研人の意を汲んで附したのか、また依拠した風雨書屋本に既に附されていたのか、定かではない。

痛史 呉研人 蔵

〈1959年12月中華書局香港分局刊、1冊27回未完。上記上海文化出版社版の影印本、但し「前言」はない〉

痛史 呉沃堯 蔵

〈1968年5月台湾世界書局刊(再版)、楊家駱主編・増訂中国學術名著第1輯・中国通俗小説名著第1集第33冊として、「九命奇冤」「恨海」と共に合冊。27回未完。上海文化出版社版に依拠した組替え排印本。「前言」「校註」共に章荅深のものを改竄盗用する〉

***社会小説二十年目睹之怪現狀** 我仏山人 実藤文庫蔵

〈『新小説』第1巻第8号(光緒29.8)～第2巻第12号(光緒31.12)に連載。45回未完。各回有評、頭註〉

「怪現狀」の初出誌も「痛史」同様『新小説』である。現在眼にし得る初出「怪現狀」は、実藤文庫所蔵『新小説』第19号(光緒31.7)掲載の27・28・29回のみで、各回末尾には各々評が附されている。尚、連載開始期は「痛史」同様『新民叢報』掲載の『新小説』の広告に拠った。また「45回未完」とは、阿英「清末小説雜誌略」の記載に拠る。

社会小説二十年目睹之怪現狀 我仏山人 関西大学増田文庫蔵

〈1906年～1910年広智書局刊、8冊108回。各回有評、頭註〉

増田文庫蔵本は5冊65回まで、従って6冊以降は未見。また第1冊は光緒33.5の再版本である。各冊の発行年月は以下の通り。但し未見の第6冊以下は阿英の『晚清戯曲小説目』に従った。①光緒32.2 ②同年、4 ③同年、9 ④同年、11 ⑤同年、12 ⑥宣統1.3 ⑦宣統2.8 ⑧同年、12

*二十年目睹之怪現狀 —— (A)

〈民国13年4月上海世界書局刊, 4卷4冊108回〉

二十年目睹之怪現狀 吳趼人著 魏冰心標点 田中謙二藏

〈民国15年9月訂正初版上海世界書局刊, 4冊108回。民国22年5月3版刊〉

*二十年目睹之怪現狀 吳沃堯 (拋西諦書目)

〈1933年上海石印本, 1冊, 存卷七至八, 有図〉

足本二十年目睹之怪現狀 吳趼人 京大中哲文蔵

〈民国24年11月重排初版上海世界書局刊, 1冊108回。卷頭, 編者“本書特点”“標点符号說明”勤廬“叙言”を附す〉

民国15年9月上海世界書局版の改版排印本である。

足本二十年目睹之怪現狀 吳趼人 蔵

〈民国28年7月新一版上海世界書局刊, 以下「京大中哲文」蔵本と同じ〉

*二十年目睹之怪現狀 —— (A)

〈民国25年3月再版上海中央書店刊, 4冊108回〉

社会小説二十年目睹之怪現狀 我仏山人 周雲標点 周郁浩校閲 関西大学増田文庫蔵

〈民国25年3月大達図書供应社出版上海広益書局発行, 2冊108回。各回有評。卷頭, 桐廬主人の“新序”を附す〉

二十年目睹之怪現狀 —— (A)

〈1954年12月北京通俗文芸出版社刊, 2冊108回〉

二十年目睹之怪現狀 吳趼人 蔵/関西大学増田文庫蔵

〈1957年7月第3次印刷上海文化出版社刊(初版は1956年9月), 2冊108回。卷頭, “重印說明”を附す〉

“重印說明”に次の如くある。「……本書在一九五四年十二月由北京通俗文芸出版社印過一次, 四字体過小, 行距過密, 讀者閱讀不便。現在根据讀者意見重新排印」

二十年目睹之怪現狀 吳趼人著 張友鶴校注 国会図書館蔵

〈1959年7月人民文学出版社刊, 2冊108回。卷頭, “吳趼人小像”王応“前言”を附す〉

足本二十年目睹之怪現狀 吳沃堯著 世界書局編輯部校 蔵

〈1968年5月台湾世界書局刊(再版), 2冊108回。楊家駱主編・増訂中国學術名著第1輯・中国通俗小説名著第1集第32冊。卷頭, 編者“本書特点”“標点符号說明”勤廬“叙言”を附す。民国24年11月上海世界書局重排本の影印版〉

二十年目睹之怪現狀 吳趼人 蔵

〈1969年2月香港広智書局刊(5版), 2冊108回。卷頭, “本書特点”“標点符号說明”勤廬“叙言”を附すが上記世界書局版とは異なり, 勤廬の“叙言”にも異同がある。また挿図16葉を附す。本文は世界書局版の影印。尚, 最近では刊記がなく, “標点符号說明”および勤廬“叙言”の欠落した版も出ている〉

二十年目睹之怪現狀 吳趼人著 張友鶴校注 蔵

〈1978年9月湖北第1次印刷人民文学出版社刊, 2冊108回。本版は1959年7月人民文

学出版社版の版型によっているが、張友鶴の注は改訂されている部分がある。また“吳趸人小像”はなく、“前言”の著名も王応から簡夷之にかわっている〈(参考) 中法戦争怪現狀(節二十年目睹之怪現狀) 我仏山人 関西大学増田文庫蔵 <1957年12月中華書局刊, 阿英編『中法戦争文学集』収載節録版〉

小説 九命奇冤 嶺南将叟重編 実藤文庫蔵

『新小説』に連載, 連載期間および回数未評。おそらく有評

『九命奇冤』は吳趸人自から作中第36回末尾にて「我這重編九命奇冤的」という如く, 粉本を有した作品で創作とはいえない。しかし, その「重編」は単なる改編にとどまるものではなく, 構成・描写いずれにおいても, 新奇且つ出色の出来映えであり, 趸人自身の創作小説としてもさしつかえないと考え, ここに排した。尚, 『九命奇冤』初出誌で現在目睹し得るものは実藤文庫蔵『新小説』19号掲載の24回, 25回, 26回のみである。

九命奇冤 嶺南将叟重編 関西大学増田文庫蔵

<1906年広智書局刊, 3冊36回。7, 8, 10, 33の各回有評〉

増田文庫蔵本の刊記は, 上, 中巻2冊は共に光緒32.7, 下巻は光緒34.4の再版本である。

九命奇冤 嶺南将叟重編 大谷大学図書館蔵

<民国12年3月訂正初版上海世界書局刊, 1冊36回。7, 8, 10, 33の各回有評〉

本版は上記1906年広智書局の版型を使用し, 一冊本として刊行したもの。

分段 九命奇冤 吳趸人著(刊記) 魏氷心標点 澤田瑞穂蔵
標点 将叟著(封面)

<民国15年9月上海世界書局刊, 3冊36回。魏氷心の「新序」を附す〉

刊記に「中華民國15年9月訂正初版」とあるが, 上記民国12年上海世界書局版の訂正版と考えられる。

九命奇冤 吳趸人 関西大学増田文庫蔵

<1956年1月上海文化出版社刊, 1冊36回。附「出版者的話」〉

本文に一部改削がある。

九命奇冤 吳沃堯 蔵

<1968年5月台湾世界書局刊(再版), 楊家駱主編・増訂中国學術名著第1輯・中国通俗小説名著第1集第33冊として, 「痛史」「恨海」と共に合冊。上海文化出版社本の影印版〉

梁天来(清代四大奇冤之一) 吳趸人 飯塚朗蔵

<1975年1月香港通俗小説出版社刊, 1冊36回。附「前言」「出版説明」「刻画社会怪現象馳誉的吳趸人」「名小説家倪匡談“梁天来”」, 写真2頁, 挿図8葉。本文は上海文化出版社本の影印〉

九命奇冤 吳趸人 蔵

<香港広智書局刊(発行年月不記), 1冊36回。上海文化出版社本の影印〉

迷信小説 瞎騙奇聞 蕪叟 (B)

『繡像小説』41期(光緒30.12)~46期(同31.2)に連載。8回。各回に繡像を附す

*瞎騙奇聞 蕪叟 (拋晚清小説史 / (C) / 中国通俗小説書目)

〈光緒34年商務印書館刊。8回〉

瞎騙奇聞 蕪叟(吳趸人) 関西大学増田文庫蔵

〈1960年5月中華書局刊, 阿英編『晚清文学叢鈔 小説2巻上』所収版, 8回。『繡像小説』版に拠り排印〉

*恨海 我仏山人 (C)

〈光緒32年広智書局刊〉

哀情小説 恨海情天 我仏山人著 蔵

〈民国28年1月広益書局刊, 1冊10回。巻頭に, 韜漢の「序」を, 巻末に吳趸人作〈恨海〉題詞「西江月」を附す。また「頭注」あり〉

恨海 吳趸人 東大東洋文研蔵

〈1955年7月通俗文芸出版社刊。10回。附「出版の話」〉

「出版の話」の末尾に次のようにある「書中有個別很不妥當的地方, 如称義和团是“拳匪”等, 我們在出版時都已作了必要的刪改」このほか第1回前半の写情小説に関する部分が刪除されている。

恨海 我仏山人 関西大学増田文庫蔵

〈1959年5月中華書局刊, 阿英編『庚子事变文学集』所収版。10回。巻頭に「拠原刊本排印」とある〉

恨海 吳沃堯 蔵

〈1968年5月台湾世界書局刊(再版), 楊家駱主編・増訂中国學術名著第1輯・中国通俗小説名著第1集第33冊として, 「痛史」「九命奇冤」と共に合冊。10回。魏氷心「序」, 編者“本書特点”“標点符号說明”を附す〉

魏氷心の序の末尾には「14年8月21日」の日付があり, 察するところ民国14年頃に, この序を附した『恨海』が出版されたようであるが(従って本版はそれに拠る影印か改版排印), その存在は不明なのでここに注記するにとどめる。

(参考) 恨海 柯靈著 蔵

〈1959年8月香港建文書局刊。「根拠吳趸人小説恨海的話劇」〉

*糊塗世界 蕪叟 (C)

〈光緒32年上海世界繁華報館刊。孫措第『中国通俗小説書目』に拠れば, 6冊12巻12回で巻頭に「丙午二月茂苑借秋生序」を附すという〉

阿英『晚清文芸報刊述略』に拠れば, この作品の原載は「世界繁華報」上であり, 少なくとも19回までは発表された, というが繁華報は未見の為, 掲載年も定かでなく, ここに註記するにとどめる。

糊塗世界 繭叟(吳趸人) 関西大学増田文庫蔵

〈1960年5月中華書局刊, 阿英編『晚清文学叢鈔 小説2卷上』所収版, 12巻。巻頭, 「茂苑借秋生序」を附す。阿英の「叙例」に拠れば上記世界繁華報館版に拠り排印とのこと〉

歴史小説 兩晋演義稿本 我仏山人 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第1号(光緒32.9)~第1年第10号(光緒33.10)に連載。23回, 2・3・6回有評。巻頭に「歴史小説総序」「兩晋演義序」を附す)

*歴史小説 兩晋演義 —— (拠中国通俗小説書目)

〈宣統元年上海群学社刊「説部叢書」, 23回。附「自序」〉

実藤文庫蔵, 宣統2年3月上海群学社刊『美人島』末尾に附された「説部叢書五十四種目録」中に, 吳趸人の著作が8種収められており『兩晋演義』も見える。

慶祝立憲 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第1号(光緒32.9)掲載)

短編小説 預備立憲 偈 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第2号(光緒32.10)掲載)

短編小説 大改革 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第3号(光緒32.11)掲載)

短編小説 義盜記 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第3号(光緒32.11)掲載)

短編小説 黑籍冤魂 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第4号(光緒32.12)掲載)

黑籍冤魂 我仏山人 関西大学増田文庫蔵

〈1957年2月中華書局刊, 阿英編『鴉片戦争文学集』所収版〉

短編小説 快陞官 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第5号(光緒33.1)掲載)

短編小説 平步青雲 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第5号(光緒33.1)掲載)

短編小説 立憲万歳 趸 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第5号（光緒33.1）掲載）

社会小説 上海遊驛録 跔 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第6号（光緒33.1）～第1年第8号（同年，4）に掲載。10回）

*上海遊驛録 —— （拋中国通俗小説書目）

〈光緒34年上海群学社刊，10回〉

*上海遊驛録 —— （拋晚清小説史）

〈宣統元年7月上海群学社刊「説部叢書」第25種。10回〉

短編小説 查功課 跔 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第8号（光緒33.4）掲載）

苦情小説 劫余灰 我仏山人 京大人文研蔵／(D)

『月月小説』第1年第10号（光緒33.10）～第2年第12期（同34）に断続連載。16回）

*苦情小説 劫余灰 —— (C)

〈宣統2年上海群学社刊「説部叢書」，16回〉

劫余灰 我仏山人 関西大学増田文庫蔵

〈1960年2月中華書局刊，阿英刊，阿英編『反美華工禁約文学集』所収版，16回〉

短編小説 人鏡学社鬼哭伝 南海呉跔人揮涕課 京大人文研蔵

『月月小説』第1年第10号（光緒33.10）掲載）

人鏡学社鬼哭伝 南海呉跔人揮涕課 関西大学増田文庫蔵

〈1960年2月中華書局刊，阿英編『反華工禁約文学集』所収版〉

法律小説 剖心記 我仏山人 京大人文研蔵

『鏡立社小説月報』第2期（光緒33.10）掲載，2回未完。巻頭，「剖心記凡例」を附す。また亜東破仏の割註を附す）

社会小説 発財秘訣（黄奴外史） 跔人／跔 京大人文研蔵／(D)

『月月小説』第1年第11号（光緒33.11）～第2年第2期（同34）に連載。10回）

*発財秘訣 —— （拋中国通俗小説書目）

〈発行年月不明。上海月月小説社排印単行本〉

発財秘訣（黄奴外史） 跔人 関西大学増田文庫蔵

〈1960年5月中華書局刊，阿英編『晚清文学叢鈔 小説2巻上』所収版，10回〉

歴史小説 雲南野乘 跔 京大人文研蔵／(D)

『月月小説』第1年第11号（光緒33.11）～第2年第2期（同34.2）に断続連載。3回

未完〉

滑稽小説 無理取鬧之西遊記 我仏山人 京大人文研蔵
 〈『月月小説』第1年第12号(光緒33.12)掲載〉

理想科学寓言 光緒万年 我仏山人 (D)
 諷刺小説
 〈『月月小説』第2年第1期(光緒34.1)掲載〉

教育小説 学界鏡 熊叟 (D)
 〈『月月小説』第2年第9期(光緒34.9)~第2年第12期(同年,12)に連載。4回未完〉

*学界鏡 熊叟 (C)
 〈宣統2年上海群学社刊,4回〉

*新石頭記 我仏山人 (C)
 〈光緒年改良小説社刊,8冊40回,有図〉

呉趺人『近十年来之怪現狀』自序および『月月小説』第1年6号所蔵「説小説」中の報癖の「新石頭記」紹介に拠れば、この作品の初出掲載は上海の『南方報』(魯迅の『中国小説史略』では『指南報』とする)であるというが不詳。有図としたのは阿英『小説閑談』(新版)「新石頭記2」に拠る。

*最近社会鯨鯢史(近十年之怪現狀) 我仏山人 (C)
 〈宣統2年時務報館刊,2冊20回。巻頭おそらく自序を附す。有図〉

阿英編『晚清文学叢針 小説2巻』巻頭に該本の表紙書影が掲載されており、次の如く記す。「社会小説/鯨鯢最近社会鯨鯢史/南海呉趺人著/時務書報館発行」

近十年之怪現狀(最近社会鯨鯢史) 我仏山人 関西大学増田文庫蔵
 〈1960年5月中華書局刊,阿英編『晚清文学叢鈔 小説2巻下』所収版,20回〉

*情変 呉趺人 (C)
 〈宣統2年上海輿論時事報剪報本,2冊8回〉

「晚清小説目」は「輿論時報刊,2冊10回」と記すが、おそらくそれは誤りで、同じ阿英編『小説2巻上』巻頭の「叙例」中の記述が正しいと思われるので、出版事項はそれに従った。尚、「剪報本」とは、当時の新聞小説などの連載小説は、小説完結後剪り抜いて冊子にできるように編集してあるものが多く、その剪抜合本版を指す。

情変 趺人 関西大学増田文庫蔵
 〈1960年5月中華書局刊,阿英編『晚清文学叢鈔 小説2巻下』所収版,8回。8回末尾に輿論時報社による、呉趺人絶筆の記事が附されている。これは前記剪報本に既に附されていたのだろう〉

〔その他〕

*電術奇談 —— (拋孔另境中国小説史料)

〈衍義。『新小説』第1巻第8号(光緒29.8)より光緒31年にかけて連載。24回〉

*電術奇談 日本菊池幽芳著, 方慶周訳, 我仏山人衍義, 知新室主人評点 (C)

〈光緒31年新小説社刊, 24回〉

孫楷第『通俗小説書目』には次の如くある。「電術奇談一名催眠術／存 上海広智書局排印本／清吳沃堯撰。題『我仏山人衍義』此書以日本菊池幽芳元著底本而敷衍之, 已非翻譯性質」 広智書局とは『新小説』2巻以後の発行を扱った出版社で, 新小説社と同一。尚, 原作は不明。

*新笑史 我仏山人 (拋広東人民出版社版俏皮話「前言」)

〈雑録。『新小説』第1巻8号, 第2巻11号に掲載。22篇〉

新笑史 吳趸人著 盧叔度輯注 東大東洋文研蔵

〈1958年2月広東人民出版社刊『俏皮話』中に附録。19篇〉

*新笑林広記 我仏山人 (拋広東人民出版社版俏皮話「前言」)

〈雑録。『新小説』第1巻10号, 第2巻5号, 10号に掲載, 22篇〉

新笑林広記 吳趸人著 盧叔度輯注 東大東洋文研蔵

〈1958年2月広東人民出版社刊『俏皮話』中に附録。22篇。附「自序」〉

小説叢話 趸 実藤文庫蔵

〈評論。『新小説』第2巻7号に附録として掲載〉

「小説叢話」とは『新小説』第1・2巻に梁啓超・狄楚青など十数人により執筆連載された古典小説評論の総称である。光緒32年新小説社より単行され, いま阿英編『小説戯曲研究巻』収。

活地獄 蕨叟 (B)

〈続作。『繡像小説』70期(光緒32.2)~71期(同年,3)に掲載。40, 41, 42回。有評〉

李伯元の死により以上の3回を続作。因に最終43回は茂苑情秋生の手になる。

歴史小説総序 南海吳沃堯趸人氏撰 京大人文研蔵

〈序。『月月小説』第1年第1号(光緒32.9)に掲載。阿英編『小説戯曲研究巻』収〉

両晋演義序 著者自序 京大人文研蔵

〈序。『月月小説』第1年第1号に掲載。『小説戯曲研究巻』収〉

享情小説 情中情 俠心女史訳述 我仏山人点定 京大人文研蔵

<点定。『月月小説』第1年第1号～第5号（光緒33.1）に断続連載。5章未完>

侑皮話 趸人／趸／趸座 京大人文研蔵／(D)

<雑録。『月月小説』第1年1号～第2年8期（光緒34.8）に断続掲載。126篇。有序>

侑皮話 吳趸人著 盧叔度輯注 東大東洋文研蔵

<1958年2月広東人民出版社刊，126篇。巻頭に「吳趸人像」「『月月小説』原載自序書影」および盧叔度の「前言」を附す>

単行本としては既述の上海群学社「説部叢書目録」中に『^{小説}侑皮話』が見えるが、未見のため正確な出版年は不明。ここに註記するとどめる。またこの版を使用した香港百靈出版社『清代吳趸人寓言集』と題する影印版もある。尚、盧叔度の「前言」に次のような記載がある。『侑皮話』共一百二十六篇，其中有些篇章，最初散見於光緒年間各報刊，後經作者輯録，重新修訂，連載於作者所主編的『月月小説』。當時雖有抽印本行世，恐印數無多，今已散佚殆盡。本書是根據光緒年間『月月小説』的原刊本哀輯而成。為了保全原作的面貌，除了改正書中一些錯別字以外，完全依照原刊本原文，未作任何刪改』『月月小説』発表以前の新聞掲載版については不明。

*胡宝玉（三十年上海北里之怪歴史） 老上海 （拋古典文学出版社版小説閑談）

<伝。光緒32年広内書蔵刊，8章。巻末「上海洋場陳迹一覽表」「上海已佚各報考」を附す>

『月月小説』第1年5号所載の新厂（周桂笙）の「説小説」に次の如くある。『胡宝玉』一名三十年上海北里之怪歴史，此書丙午初冬出版，頗風行一時，大有洛陽紙貴之概，作者不知何許人，亦不詳其姓氏，第自署為老上海而已，要亦一有心人也』趸人の知友周桂笙が著者不明というのだから，趸人の作に非ずとも思えるのだが，知友の言であるからこと一概に信用することはできず，ここでは吳趸人の『近十年之怪現狀』自叙』に従い彼のものとした。尚，中野美代子「吳趸人『胡宝玉』小考」（『啞』11）参看。

偵探小説 盜偵探（金齒記） 解朋著 迪齋訳述 京大人文研蔵／(D)

<訳述。『月月小説』第1年2号（光緒32.10）～第2年12期（同 34.12）に断続的に連載，22回>

*偵探小説 盜偵探（金齒記） 解朋著 迪齋訳 (C)

<宣統2年上海群学社刊「説部叢書」>

「晚清小説目」“翻譯之部”には，1) 盜偵探 解朋訳。又題金齒記，宣統2年(1910)群学社刊。/2) 盜偵探 迪齋訳。光緒32年(1906)月月小説本。と，2種の『盜偵探』があるように記載されているが，同一のものなので，ここでは補正した。

送往来之学生〔譏彈〕 新著 偈評 京大人文研蔵

〈評。『月月小説』第1年2号に掲載。「新」とは周桂笙〉

李伯元伝 吳沃堯 京大人文研蔵

〈伝。『月月小説』第1年3号（光緒32.11）に掲載〉

趺塵詩刪贖 南海吳沃堯趺人著 儀隴蔣庚絳儕選 京大人文研蔵

〈詩。『月月小説』第1年4号（光緒32.12）、5号（同33.1）、7号（同年、3）に掲載。趺人白序あり〉

〔内容〕 柳絮九首，蒲溝道中大風，將入都与君宜大弟剪燭話別時宿河西務，都中尋先兄墓不得，行路難，課弟，江頭杳望晚蘭妹婦舟不至，薰被（以上4号）夜坐抒感，送別，柬祝齡從兄延禧，之杭州登舟口号，上馬，同人分詠除夕分得『宮禁』『小兒』『旅舍』『新婚』四題錄存宮禁一章，元旦試筆，何必，虞姬，無題，無事，以西洋攝影法攝得小象笑容可掬戲題此章，文鹿季父春闈報罷南旋過申賦此送婦嶺南並寄介叔王季父京都，贈魯樸人，秋日分題分得孤雁，閩中雜詠，倚琴樓詩四首，挹芬室詩四首，消寒雜詠分得雪影，贈湘南某姬，憑闌（以上5号）清明日偕瑞棠弟展君宜大弟墓用辛卯都中尋先兄墓韻，劉吉甫婚詞時親迎槎溪余為執柯也，七月十九夜接家季父電詔赴彝陵省疾即夜成行戚友知己都不及走告賦此留別，阻舟漢上，眺黃鶴樓故址，舟過晴川閣，鸚鵡洲吊禰正平，虎牙灘（以上7号）

譏彈 趺 京大人文研蔵

〈譏彈。『月月小説』第1年5号〉

〔内容〕 恭賀新禧，恭喜發財，陞官圖，狀元籌

鼻西鼓詞序 趺人 京大人文研蔵

〈序。『月月小説』第1年7号〉

割記小説 趺塵贖墨 南海吳沃堯趺人 京大人文研蔵

〈割記小説。『月月小説』第1年7号～12号（光緒33.11）断統的に掲載〉

小説とはいうが，一寸したエピソードのメモ程度のものである故，小説類には排しなかった。〔内容〕 盜被騙，嗅癮，龍，巧對，小塌餅，逸囚（以上7号）方言，瘳馳，蠅鐵，詐賄被侮（以9上号）對聯，集四書句，借對，復甦（以上11号）主權已復乎國家已亡乎，瓶水解毒，桂苑節孝記（以上12号）

曾芳四伝奇 我仏山人填詞 儀隴山農評点 京大人文研蔵

〈伝奇。『月月小説』第1年8号（光緒33.4）、9号（同年、9）に掲載。3齣〉

黃勳伯伝 趺 京大人文研蔵

〈伝。『月月小説』第1年8号〉

四海神交集 研人氏識 京大人文研蔵

〈識語。『月月小説』第1年8号〉

雑説〔説小説〕 研 京大人文研蔵

〈雑録。『月月小説』第1年8号掲載。『小説戯曲研究卷』巻四収〉

時事新劇 卮烈士殉路 佛 京大人文研蔵

〈劇。『月月小説』第1年11号（光緒33.11）、12号（同年、12）に掲載。2折〉

小説製記 自由結婚 上海知新室主人訳述 呉研人評 (D)

〈評。『月月小説』第2年（光緒34.2）に掲載〉

近十年之怪現狀自序 —— （拋晚清文学叢鈔小説戯曲研究卷）

〈序。宣統2年時務報館刊『近十年之怪現狀』に附す。いま『小説戯曲研究卷』に収〉

〔附録 1〕 出版事項の不明確な作品類

還我靈魂記 —— （拋中国小説史料） 補遺参看

孔另境『中国小説史料』に引く『新菴筆記』および魯迅の『中国小説史略』に見える。

***四大金剛伝** 我仏山人 (C)

〈光緒年間石印本、4冊〉

『我仏山人筆記』4巻「上海三十年艶迹」中に「四大金剛小伝」という一文があり、該本のダイジェスト版かと考えられる。四大金剛とは、当時の上海の妓女、林黛玉、陸蘭芬、金小宝、張書玉のこと。

***致曾少卿書** 呉沃堯 （拋反美華工禁約文学集）

阿英編『反美華工禁約文学集』はその抄文3通を、朱士嘉編『美国迫害華工史料』（1958.9 中華書局）は1通を収める。

〔附録 2〕 後人輯綴短篇集

集中の各短篇初出誌については殆ど不明である。

***研塵筆記** —— （拋中国小説史料）

『中国小説史料』に引く魏如晦「清末四大小説家」などに見える。

***研人十三種** —— （拋光明日報）

『光明日報』1965.3.28「文学遺産504」の邵汝愚の「《呉研人伝》和《研人十三種》」に次のようにある。「《研人十三種》是宣統二年（一九一〇）夏曆三月由上海群学社出

版的。下距吳氏逝世不過半年。這本實際是從《月月小說》上抽出來的十三種作品的合訂本，包括作者零星發表的短篇小說（這是主要部分）以及筆記，詩稿等……書中主要的幾篇像《光緒萬年》《無理取鬧之西游記》《立憲萬歲》《慶祝立憲》和《大改革》等……」以上より『月月小說』誌上發表の短篇集であることはわかるが正確な所収作品はわからない。

我仏山人筆記 南海吳趯人 東外大諸岡文庫蔵

〈民国4年瑞華書局刊，4冊4種4卷。卷頭に汪維甫「我仏山人筆記四種序」「中国偵探三十四案凡例」「弁言」を附す。尚，諸岡文庫蔵本は卷2「中国偵探案」1冊が欠落していて未見だが目録はある。また魏如晦「清末四大小説家」には「1906」の作とあり，また『新民叢報』78号等の出版広告に拠れば，広智書局からも単行されているらしいが，いまは詳細を欠くため，ここに註記するにとどめる〉

我仏山人筆記 吳趯人著 北海道大学図書館蔵

〈民国61年台北文海出版社刊。沈雲龍主編「近代中国史料叢刊」第86輯として刊行。附「我仏山人筆記四種小引」「中国偵探三十四案凡例」〉

〔内容〕（卷1 趯塵隨筆）烟鬼，紅痧，盜跖踞文廟，宋江解填詞，水滸三十六人讚，地毛黑米，紹興女，記戊寅風災，龍鱗，蜈蚣毒，鬼求医，猴酒，葉中堂樂府三章，輕身法，生魂，綠米，周師傅，夙冤，董杏芬，神医，南海劇盜，竈怪，猫妖，秦中令，絳桃，願繡，区仙，金龍四大王，黃道姿祠，佞鬼，佞崇，虎媪，西湖王，西湖水，孝女墓，烈女墓，烈女亭，例哭，果報，某太史二則，五海，記季某復仇事，劉華東，訟棍鬪法，戴隔壁帽，玉臂金蓮，外族侵凌，虞美詩，広陵蔣生（卷2 趯塵隨筆）玉姑，巨鬼吞人案，説狐，某京卿，宋芷湾伏事，李善才，大胆秀才，朱真人故居，某富室子，王孝子尋親記，土中之宋人，粵盜区新，販蠟客，潘鏡泉，狐能言，奇女子，金陵某甲，義犬，蛇人，跛解元，李若農，繆炳泰，高密疑案，俠妓，烈女，雲霞閣主人別伝，烈鷄，清遠健婦，（卷3 中国偵探三十四案）例言，断布，搭連袋，東湖冤婦案，強姦弁，鍾蕪，開棺驗屍，捏写借券案，誣控和尚，假人命，盜屍案，浦五房一雞案，控忤逆二則，打色斗，曬銀字，審張七，偽借券，德清冤婦案，左手殺人，驗籛，燒猪作証，荆花毒，慈谿冤女案，三夫一妻，隣邑伸冤，隄為冤婦案，貨郎，自行偵探，錫欠毒，清苑冤婦案，太原周生，守貞，争墳案，審樹，（卷4 上海三十年艶迹）李巧玲，艶迹略紀，二怪物，後二怪物，四大金剛小伝，小林宝珠，九花娘，六花娘，洪奶奶，女伶，陸昭容，金巧林，沈月香，李佩蘭，姚蓉初，姚氏姊妹，李三三，徐瑞卿王佩蘭，花叢事物起源，胡宝玉小伝，北里變遷大略，上海遊客之豪侈，上海花叢之笑柄，洋場陳迹一覽表，上海已佚各報

我仏山人滑稽談 南海吳趯人先生 関西大学増田文庫蔵／東外大諸岡文庫蔵

〈民国年間上海掃葉山房石印，上下2冊146篇。卷頭に雲間顛公の識語を附す〉

我仏山人割記小説 南海吳研人先生 東外大諸岡文庫藏

〈民国年間上海掃葉山房石印，上下2冊4卷。尚，収録作品中、『我仏山人筆記』と重複するものがあるが、題の異なるもの、内容に大巾な異同のあるものがある〉

新式
標点 札記小説 我仏山人 陳益標点 東大東洋文研藏

〈民国15年掃葉山房書局活版。卷頭に「序」「新式標点説明表」を附す〉

〔内容〕（卷1）売豆互者，小児語，土中人，區新，販蠟客，潘鏡泉，孤言，奇女子，李乙，炭中怪，説虎，捕蛇者，跛解元，李侍郎軼事，繆炳泰，山陽巨案，孤医，富家児，（卷2）李善才，息妄念法，張秀才，朱真人故居，李文忠，白雲橋異事，宋宝佑丙辰題名録，旌表節婦，劊子手，王孝子尋親記，（卷3）萊州府獄，張玉姑，勞山零拾，厲鬼吞人案，龍，嘗鼎，某京卿，宋芷湾先生佚事，改正十三經勘校記，（卷4）育烈，捏紛人匠，謎証，高密疑案，俠妓，某烈女，霞雲閣主人別伝，劉玉書，南海某生，烈鶴，某酒樓，清遠健婦，禁鴉片遺事三則，徐次舟觀察佚事，誤果

II 文献目録

A 記事・論稿（中国語）

〔写情小説〕電術奇談 寅半生（鍾駿文）

「小説閑評」*『游戯世界』第2期 1906

阿英『晚清文学叢鈔 小説戯曲研究卷』北京中華書局 1960.3

〔写情小説〕恨海 寅半生

「小説閑評」*『游戯世界』第?期 ?

阿英『晚清文学叢鈔 小説戯曲研究卷』

恨海 新厂（周桂笙）

「説小説」『月月小説』第1年第3号 1906.12

阿英『晚清文学論叢鈔 小説戯曲研究卷』

胡宝玉 新厂

「説小説」『月月小説』第1年第5号 1907.1

阿英『晚清文学叢鈔 小説戯曲研究卷』

恨海・新石頭記 報癖（陶蘭蓀）

「説小説」『月月小説』第1年第6号

阿英『晚清文学叢鈔 小説戯曲研究卷』

識語 雲間顛公

上海掃葉山房民国初期石印刊『我仏山人滑稽談』及『我仏山人割記小説』

我仏山人伝
（小説家吳研人伝）

李懷霜（李葭榮）*『天鐸報』

?

『虞初近志』

『清代軼文』卷8 上海中華書局 1915.3

『清朝野史大観』卷11 上海中華書局 1921

（我仏山人伝）

*『小説世界』第13卷第20期 上海小説世界社

- 1926
- 范煙橋『中国小説史』〈抄録〉*蘇州秋葉社
- 1927.12
- 同上香港影印 1967
- 怪現狀隱託人名
- 『清代軼文』卷8
- 『清朝野史大觀』卷11
- 我仏山人筆記四種序 汪維甫 瑞華書局『我仏人筆記』 1915
- 談屑〈吳趸人小伝〉 杜階平 『小説月報』第8卷第1号商務印書館 1917.1
- 吳趸人短視 徐珂編 『清稗類鈔』第20冊容止商務印書館 1917.11.19
- 吳趸人焚券 徐珂編 『清稗類鈔』第21冊義俠(下)
- 吳趸人縱酒自放 徐珂編 『清稗類鈔』第47冊飲食(上)
- 二十年目睹之怪現狀第一百八十
蔣瑞藻編 『小説考証附統編拾遺』卷8 商務印書館 1919.9
- 古典文学出版社 1957.7
- 吳趸人(我仏山人) 陳伯熙編 『上海軼事大觀』人物上海泰東圖書局 1924.2(6版)
- *批評九命奇冤 正厂 『学燈』 1924.4.15
- *評九命奇冤 許君遠 『晨報副刊』 1924.12.8/9
- 〈新式札記小説〉序 陳益 掃葉山房書局『新式札記小説』 1926
- 〈九命奇冤〉新序 魏冰心 上海世界書局『分段九命奇冤』 1926.9訂正初版
- *對於「恨海」的審評 于錦章 『天津益世報』益知樓 1929.7.24/25
- *我仏山人遺詩 『小説世界』第18卷第3期 1929.8
- 「上海游驂録」 阿英 『人間世』32期 1935.7.20
- 〈_本二十年目睹之怪現狀〉叙言 勤廬 上海世界書局『_本二十年目睹之怪現狀』 1935.11重排
- 1939.7新一版
- 台灣世界書局『_本二十年目睹之怪現狀』 1968.5再版
- 香港廣智書局『二十年目觀之怪現狀』1969.2(5版)
- 二十年目睹之怪現狀新序
- 桐廬主人 廣益書局『_本二十年目睹之怪現狀』 1936.3
- 新石頭記(一)/新石頭記(二)/小説零話:胡宝玉(h)胡宝玉(t)
- 阿英 『小説閑話』上海良友圖書印刷公司 1936.6.10
- 吳趸人的小説論 阿英 『海市集』上海北新書局 1936.11
- 『小説二談』上海古典文学出版社 1958.5
- 〈_{哀情}恨海情天〉序 韜漢 廣益書局『_{哀情}恨海情天』 1939.1
- 晚清文学史話 楊世驥 『說文月刊』第2卷第2期說文月刊社 1940.5

- 吳沃堯「歷史小說總序」／痛史／新石頭記／劫餘灰／賭騙奇聞／發財秘訣／電術奇談
楊世驥 『文苑談往』中華書局 *1944.4
1945.8(再版)
- 晚清的俠義小說和遺責小說
吳小如 『文芸學習』1955年第8期中國青年出版社 1955.8
『中國小說講話及其它』上海出版公司 1955.10
- 〈九命奇冤〉出版者的話 上海文化出版社『九命奇冤』 1956.1
- 〈痛史〉前言 章荅深 上海文化出版社『痛史』 *1956.5
1958.6(4次印刷)
- 關於“二十年目睹之怪現狀”
阿英 『文芸學習』1957年第1期 1957.1
『明清小說研究論文集』人民文學出版社 1959.2
- 兩晉演義／電術奇談／恨海十回／新石頭記四十回／九命奇冤上中下三卷三十六回／二十年目睹之怪現狀八卷一百零八回／發財秘訣／糊突世界十二卷十二回／賭騙奇聞八回／上海遊驢錄十回 孫楷第 『中國通俗小說書目』北京作家出版社 1957.1
- *我佻山人——吳趸人 李育中 『南方日報』 1957.3.24
- 二十年目睹之怪現狀 孔另境 『中國小說史料』上海古典文學出版社 1957.5
同上上海中華書局 1959.6
- 新世說 易宗夔／我佻山人筆記序 汪維甫／我佻山人筆記 吳沃堯／新菴筆記 周桂笙／缺名筆記／清末四大小說家 魏如晦
- 李伯元·吳趸人·曾樸 吳雙翼 「清末的小說」『明清小說講話』香港上海書局 1957.7
- 略談“二十年目睹之怪現狀”
劍奇 「文學遺產」165『光明日報』 1957.7.14
- 吳趸人；草木皆兵 胡行健 『古典文學作品分析』湖南人民出版社 1957.8
- 「二十年目睹之怪現狀」索隱
高伯雨 『讀小說劄記』上海書局 1957.8
同上台灣河洛圖書出版社 1977.4
- 「二十年目睹之怪現狀」的作者吳沃堯／名畫的故事／旌表「孝子」／大名士李玉軒／張之洞，張彪，洪述祖／曾國荃／聶緝槩與曾紀芬／活財神胡雪巖／張蔭桓的出身／劉學詢遇騙／大名士的家庭慘／變煉煤油的笑話／「弄巧成拙粘嶺屬他人」／考官裝瘋／趙芥堂一趣事／盛宣懷與名妓金巧林
- 吳沃堯的生卒年 劉世德 「文學遺產」172『光明日報』 1957.9.10
『明清小說研究論文集』
- *吳沃堯和他的二十年目睹之怪現狀
任訪秋 『語學教學通訊』第45期開封河南師專附設河南省初級中等學校教學業務通訊站 1957.10

- 談《二十年目睹之怪現狀》
劉葉秋 『語文學習』1957年11月号中国青年出版社 1957. 11
*『古典文学作品解析』下輯 1958. 9
『古典小說論叢』中華書局 1959. 5
- 讀《二十年目睹之怪現狀》札記
吳小如 『中国古典小說評論集』北京出版社 1957. 12
「讀晚清小說日札」『讀人所常見書日札』中華書局 1958. 9
- 〈俏皮話〉前言 廬叔度 廣東人民出版社『俏皮話』 1958. 2
香港百靈出版社『清代吳研人寓言集』刊記ナン
- 小說閑談(一)/小說零話
阿英 『小說閑談』上海古典文学出版社 1958. 5
新石頭記(一)/新石頭記(二)/胡宝玉
- 〈二十年目睹之怪現狀〉前言
王忞 人民文学出版社『二十年目睹之怪現狀』 1959. 7
簡夷之 1978. 9
- 梁天来三告御狀 寧遠 『小說新話』香港上海書局 1961. 3
同上台湾河洛圖書出版社 1977. 4
- *吳趸人(沃堯)疏狂自負
南湖 『中央日報』 1961. 10. 20
- *吳趸人的紅豆詩 魏紹昌 『天津晚報』 1962. 6. 10
《白話西廂記》的楔子 魏紹昌 『天津晚報』 1962. 7. 1/8
晚清小說家吳趸人墓在宝山縣發現 『光明日報』 1902. 9. 7
刻画社会怪現象馳譽的吳趸人
韜庵 『中国歷代小說家』香港上海書局 1963. 11
香港通俗小說出版社『梁天来(九命奇冤)』 1975. 1
- 《吳趸人伝》和《趸人十三種》
邵汝愚 「文学遺産」504 『光明日報』 1965. 3. 28
- 怎樣看待《二十年目睹之怪現狀》
王俊年 「文学遺産」506 『光明日報』 1965. 4. 18
- *我仏山人二三事 王化棠 『暢流』34卷9期台湾暢流半月刊社 1966. 12. 16
我仏山人筆記四種小引 台湾文海出版社 近代中国史料叢刊第86輯『我仏山人筆記』 1972. 12
- 名小說家倪匡談“梁天来”

倪匡 香港通俗小說出版社『梁天來』 1975. 1

*吳趸人痛斥鴉片 鄭逸梅 『瓶笙花影錄』台灣新文豐出版公司 1978. 9

關於評價晚清譴責小說的一些看法

時萌 「文学」127期『光明日報』 1978. 11. 28

“我仏山人”吳趸人 李育中 「廣東小說家雜誌」『隨筆叢刊』第1集

廣東人民出版社 1979. 6

晚清社会的照妖鏡 王俊年 『讀書』4三聯生活讀書新知書店 1979. 7

*文芸閣雲起軟詞與吳趸人小說

陳友琴 『文章』創刊号？ ?

B記事・論稿・翻訳

『支那浮世物語』 小林嘉貞^{マツ}著 丸ノ内書院 1926. 3. 1

『二十年目睹之怪現狀』中のエピソードを20ばかり意識したもの。

「九命奇冤」について 清水元助 『(初級)支那語』第1年第4号外語学院出版部
1932. 12. 1

清末の社会小説について

大高敏 『同仁』第8巻第6号 1934. 6

小説に現はれた清末官吏社会

松井秀吉 『満蒙』第15年第7号 1934. 7

読「九命奇冤」記 松井秀吉 『満蒙』第16年第4・5号 1935. 4/5

恨海に就て 松井秀吉 『満蒙』第16年第6号 1935. 6

清末の諷刺文学について

武田泰淳 『同仁』第11巻第1号 1937. 1

風俗小説の系譜Ⅱ 中野美代子 『外国語・外国文学研究』7 北海道大学教養部
1959. 12

風俗小説の系譜Ⅲ——吳趸人論ノオト——

中野美代子 『外国語・外国文学研究』8 1960. 12

清末の譴責小説について

内田道夫 『文学部研究年報』第11号東北大学 1961. 3

「怪現狀」のテキストについて

飯田吉郎 『清末文学言語研究会会報』第1号 1962. 7

読痛史雜記 長田夏樹 『清末文学言語研究会会報』第2号 1962. 10

*ツメ・土性骨(吳趸人「佻皮話」から)

普通社刊中国新書『現代中国論』附録『中国』第1号
1963. 2

蛇(吳趸人「佻皮話」から) 普通社刊中国新書『近代文学の傷痕』附録『中国』
第3号 1963. 2

守銭奴の息子（呉趼人「俏皮話」から）

普通社刊中国新書『日中関係の現実』附録『中国』
第2号 1963.3

東京訪書おぼえがき——清末文学研究資料を中心として

鳥居久靖 『清末文学言語研究会会報』第3号 1963.3.10

「九命奇冤」の成立

香坂順一 『日本中国学会会報』第15集 1963.10

「写情小説恨海」における写実法について

宮内保 『漢文学会会報』23 1964.6.25

吳沃堯

香坂順一 『中国語と中国文化』光生館 1965.5

二十年目睹之怪現狀語彙調査

宮田一郎 『明清文学言語研究会会報』第7号 1956.6

清末社会小説（中）

大村益夫 『東洋文学研究』第14号早稲田大学東洋文学会
1966.3

游戲——清末小説管見——

澤田瑞穂 『野草』第2号中国文芸研究会 1971.1.15

晚清小説研究論考——吳趼人の譴責性（其一）——

宮内保 『語学文学』第10号北海道教育大学 1972.3

晚清小説研究論考 小説『痛史』の思想——吳趼人の譴責性（其二）

宮内保 『語学文学』第11号 1973.3

吳趼人

麦生登美江 『野草』第12号 1972.10

晚清小説研究論考——吳趼人の譴責性（其一の中）——

宮内保 『語学文学』第13号 1975.3.31

吳趼人

中島利郎 「雑誌所収清末小説関係文献目録（初稿）」『啞啞』第
4号啞啞之会 1975.7.31

Bizarre Happenings Eyewitnessed in Two Decades

tr. by Shih Shun Liu (劉師舜) “Renditions (訳叢)” No. 4 1975 Spring
『二十年目睹之怪現狀』の節訳

『九命奇冤』と『梁天来』

麦生登美江 『中国文学論集』第5巻九州大学 1976.3

麦生登美江氏の『九命奇冤』と『梁天来』を読んで

中島利郎 『啞啞』第8号 1977.5.31

吳趼人著作目録

中島利郎 『野草』第20号 1977.8.1

吳趼人伝略稿

中島利郎 『清末小説研究』第1号 1977.10.1

吳趼人の歴史小説——『痛史』覚え書き——

中島利郎 『千里山文学論集』第19号関西大学大学院
1978.4.1

『二十年目睹之怪現狀語彙索引』

	宮田一郎	明清文学言語研究会	1978. 7. 10
吳趸人『胡宝玉』小考——晚清小説雜記(二)	中野美代子	『啞』第11号	1978. 12. 31
吳趸人の出自(補白)	中島	『啞』第11号	1978. 12. 31
『九命奇冤』ノオト	中島利郎	『啞』第11号	1978. 12. 31
『二十年目睹之怪現狀』あらすじ	鈴木郁子・中島利郎	『啞』第11号	1978. 12. 31
資料『二十年目之怪現狀』評語	吳趸人を読む会	『啞』第11号	1978. 12. 31
吳趸人の『九命奇冤』について——その構成についての一試論——	中島利郎	『文芸論叢』第12号大谷大学文芸研究会	1979. 3. 24
写情小説『恨海』	中島利郎	『啞』第12号	1979. 6. 30

〔補遺〕

還我魂靈記 我仙山人

〈1910年(宣統2年)7月22日『漢口中西報』収。本号〔新出資料〕参看〉

白話西廂記(吳趸人) 拋魏紹昌「《白話西廂記》的楔子」

〈民国10年(1921)10月,上海国家図書館刊。12回。附 陳仲子「序」,戚飯午「序」尚,上記魏氏の「《白話西廂記》的楔子」は,この作品の楔子部分を収録。

白話牡丹亭 —— 拋魏紹昌「《白話西廂記》的楔子」

〈出版年月不明。上海国家図書館刊。16卷〉

義盜記 吳沃堯

〈民国23年(1934)5月,大達図書供応社刊『虞初近志』(4版)収〉

李伯元伝 吳沃堯

〈上記「義盜」記と同じ〉

(なかじま としを)